令和7年度　放課後等デイサービス　　【職員の事業所自己評価　集計結果】①　　児童デイあったまぁる 吉野

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた今後の目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	1		定員に対して十分なスペースがある為、わからないと回答した職員には指導を行う
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	3	1		人員基準には満たしてはいるが、日によって負担の偏りなどがあるため調整していく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	1		トイレなどに手すりがないため、相談して行きたい
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2	0	2		ミーティングの際にPDCAサイクルの時間を取る
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	0	3		どういった場面で業務改善につなげているかを明確にする
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	3		ホームページにて確認する時間を設ける
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	0	4		実施していない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	1		市からの研修の知らせや、研修を受けた後にその内容をミーティングなどで職員に共有する
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	3		児童発達支援管理責任者が計画書を作成したあと、職員にその内容を共有する
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	0	4		新版K式発達検査を利用して支援の方向性を出しているが、その内容の説明を詳しくスタッフに伝えていく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	2		子どもの特性に応じて話し合っていこうと思う
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	2		子どもの特性に応じてプログラムを立案しているが、どういったことをねらいにしてプログラムを立案しているか共有する
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0	1		長期休暇はのんびりしがちなため、課題を決めていく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	2		取り組んでいる内容を職員全体に共有する
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0		支援内容を明確化していく
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1	3	1	帰る時間がそれぞれなので、翌日のMTGでおこなっている。	療育前のミーティングで振り返りの時間を設けている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	1		日誌にて記録を取っているが、記録を見返しやすいよう工夫する
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	0		継続を努める
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	2	2	0	3		ミーティングの際、ガイドラインをスタッフ全員で読む時間を設ける
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	2		予定があり参画できないときもあるが、それ以外は参画できるよう日程調整する
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	0		継続を努める
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	0	3	医療的ケア児はいない/服薬程度のみ	医療的ケア児の受け入れ体制が整っていないため、今後の受け入れは検討していない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	1	3		理解を深めたいとき児童発達支援事業所との連絡は取っている。その情報をスタッフと共通理解できるよう対策する
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	0	0	4		情報共有はできているが、常勤だけの理解になっているため、情報共有に努める

令和7年度　放課後等デイサービス　　【職員の事業所自己評価　集計結果】②　　児童デイあったまぁる 吉野

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	質問・意見・今後の課題	アンケート結果をふまえた今後の目標
関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	0	1	3		定期的に受けている。受けた内容を全スタッフに情報共有し、理解を深める
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	2	3		現在、地域の健常児との交流は取れていない。近隣の児童館と連携して行きたい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	1	2		情報を把握し、参加に努める
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	1		保護者とはコミュニケーションを取れていると思われるが、共通理解できるよう情報共有を強化していきたい
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	3	0	0	3		ペアレントトレーニングとは何か？から指導していきたい
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	2		契約時に伝えているが、非常勤はその状況を知らないため、伝えている旨知らせていく
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	3		どのように助言をしたか、支援をしているか明確化する
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	2	4		父母の会などはできていないため、今後検討していく
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	2		苦情が入った際の対応を周知する
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	1		デイだよりやブログで情報を発信している為、スタッフにもデイだよりに目を通してもらう
	㉟	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0		継続を努める
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	1		児童には資格支援・保護者とは連絡帳を介したり送迎時に情報伝達をしているため、ミーティングで情報共有する
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	1	3	2		開かれた事業所運営はできていないため、今後検討していきたい
非常時の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	0	2		各マニュアルを読み上げる機会を作っていく
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	0		今後訓練のスケジュールを作り、そのスケジュールを周知させる
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	0		継続を努める
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	2		身体拘束の定義について話し合う機会を設ける
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	2		数人食物アレルギーの利用者がいるが、該当する食べ物を購入していない旨伝えていく
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	0	1	ヒヤリハットをもっと作成したいと思っている	わかりやすい場所に掲示していく